

<避難する際の注意事項>

- 「避難行動要支援者（災害時要援護者）」の避難に限り、車での避難を想定します。要支援者以外の健常者が車で避難してしまうと、避難が間に合わなくなり、津波に巻き込まれる恐れがあります。また、徒歩避難者の妨げになるため、近くの高台に車で避難することは絶対にしないで下さい。



間に合わない!



車が邪魔で通れない!

- 津波避難に「自助、互助、共助」が活かせるよう日頃から考えていただき、地域の防災力を高めておきましょう。



東日本大震災から学びましょう

～釜石の奇跡～

東日本大震災の大津波が東北地方沿岸部に甚大な被害を及ぼしたなか、岩手県釜石市では、市内小中学校の全児童・生徒が即座にかつ率先して避難し、ほとんどの児童・生徒が無事でした。このことは「釜石の奇跡」と呼ばれ、大きな反響を呼びました。日頃から積み重ねられてきた防災教育が実を結び、遡上高が20mにも達した大津波から児童・生徒の命を守ったのです。

釜石市は、過去に明治三陸地震大津波（1896年）、昭和三陸地震大津波（1933年）、チリ地震津波（1960年）と三度も大津波に襲われ、多くの犠牲者を出しました。これらの悲しい経験を踏まえ「津波が来たら、家族がてんでバラバラでもとにかく逃げろ」（津波てんでんこ）という教訓を得て、東日本大震災で見事にそれを実践したことが、「釜石の奇跡」と呼ばれる今回の出来事を生んだといえるでしょう。

（内閣府防災情報ホームページ「広報誌 ぼうさい」から一部抜粋）



ひたちなか市津波避難マップ

編集／発行：ひたちなか市 都市整備部 都市計画課
市民生活部 生活安全課

TEL.029-273-0111 内線1363（都市計画課）
3211（生活安全課）

平成26年4月発行
令和 6年3月改定（避難所更新）



この冊子は環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙及び植物油インキを使用しています。